

## 2025 年第 2 回評議員会議事録

日時：2025 年 7 月 12 日（土）12:30～14:00

場所：東北大学 片平キャンパス 金属材料研究所 2 号館 1 階 講堂（ハイブリッド開催）

出席者※：

青柳忍<sup>a</sup>、植草秀裕<sup>a</sup>、海野昌喜<sup>a</sup>、尾関智二（次期会長）、上村みどり<sup>a</sup>、河野正規<sup>a</sup>、久保田佳基<sup>a</sup>（行事幹事）、栗栖源嗣<sup>a</sup>、小島優子<sup>a</sup>、小松一生<sup>a</sup>、清水伸隆<sup>a</sup>、菅原洋子<sup>a</sup>、杉本邦久<sup>a</sup>（庶務幹事）、杉山和正（会長）、関根あき子<sup>a</sup>、玉田太郎<sup>a</sup>、藤間祥子（会計幹事）、中川敦史<sup>a</sup>、中塚晃彦<sup>a</sup>、禾晃和<sup>a</sup>（監査役）、橋爪大輔<sup>a</sup>、原田彩佳（男女共同参画推進）、藤井孝太郎<sup>a</sup>（広報幹事）、水牧仁一朗（編集幹事）、宮原郁子<sup>a</sup>、森川大輔（情報幹事）、山下恵太郎<sup>a</sup>、山本雅貴<sup>a</sup>、和田啓<sup>a</sup>

委任状出席者※：五十嵐教之<sup>a</sup>、大原高志<sup>a</sup>、南後恵理子<sup>a</sup>、西堀英治<sup>a</sup>

欠席者※：足立伸一<sup>a</sup>、熊坂崇<sup>a</sup>、山田悠介<sup>a</sup>

議長：杉山和正（会長）

議事録作成者：杉本邦久（庶務幹事）

※2025 年度第 2 回評議員会（定数 30、構成員は<sup>a</sup>で表記）：出席 23、委任状出席 4

（五十音順、敬称略）

上記のとおり定足数に足る評議員の出席があったので、議長は定刻に開会を宣し、下記のとおり議事に入った。また、議事録署名人として杉本庶務幹事が選出された。

### 議事

#### 報告事項

##### 1 幹事報告

###### 1.1 庶務幹事報告（杉本庶務幹事）

2025 年 3 月 17 日から 7 月 3 日までに、64 名の会員が退会したことが報告された。また、会費滞納による強制退会者の現状について説明があり、今年度は例年よりも強制退会者が多いこと、その理由として会費納入期限を従来の 3 年から 2 年に変更したことが挙げられた。

###### 1.2 会計幹事報告（藤間会計幹事）

2025 年度の予算（期間：2025 年 2 月 1 日～2026 年 1 月 31 日）について報告があった。AsCA2025 に関しては、前払い金を拠出金として処理し、正式な決算は AsCA2025 終了後に行う予定であるため、この決算処理は 2026 年度会計に反映される可能性があることが説明された。なお、支出項目としては、AsCA2025 参加援助費および対称性講座の実施に関わる費用が挙げられた。また、2025 年度の国際会議参加助成については、募集を開始することも報告された。

### 1.3編集幹事報告（水牧編集幹事）

会誌の発行状況と特集内容について報告され、次号の準備状況および特集テーマも説明された。また、会員から申し出のあった慶弔記事については、談話室への寄稿という形で対応し、投稿された記事の掲載可否は編集委員会で判断することが報告された。

### 1.4行事幹事報告（久保田行事幹事）

対称性・群論トレーニングコース、粉末・多結晶 X 線解析講習会、2025 年度以降の年会開催計画について説明があった。粉末・多結晶 X 線解析講習会では、X 線回折・散乱によって得られる情報およびその応用について、研究事例を交えてアプリケーション重視で解説する予定である。2025 年度は AsCA2025（日台共催）のため、日本での年会は開催しない。2026 年度は仙台、2027 年度は東京周辺での開催を予定していることが報告された。

### 1.5情報幹事報告（森川情報幹事）

日本結晶学会ホームページの更新および閲覧状況について報告された。今後はアクセス数の推移を参考にしながら、ホームページの管理運営に反映していく方針が示された。また、X（旧 Twitter）の運用開始や、プレスリリースの受け付けについても報告があり、会員からの発信であれば内容を問わず受け付ける旨が説明された。

### 1.6広報幹事報告（藤井広報幹事）

メールマガジン「日本結晶学会からのお知らせ」、会員からのお知らせ「日本結晶学会ニュース」の配信、および IUCr Newsletter への投稿実績について報告された。

### 1.7男女共同参画推進幹事報告（原田男女共同参画推進幹事）

男女共同参画学協会連絡会における、選択的夫婦別姓制度に関するアンケートの報告があった。また、日本結晶学会として「女子中高生夏の学校」へ参加すること、およびその準備状況についても説明された。

## 2 AsCA 関連（杉本 AsCA 評議員）

AsCA2025 の準備状況について報告された。総会および学会賞授賞式は現地にて実施予定であり、Zoom による配信も行うことが説明された。

## 3 IUCr 関連（中川日本学術会議 IUCr 分科会委員長・IUCr 理事）

日本学術会議による国際学術団体の活動状況調査に対し、日本結晶学会は引き続き「加入国際学術団体」としての活動が認められたことが報告された。IUCr の Commission Member および Executive Committee (EC) Member の推薦については、現メンバーおよび Consultant からの推薦を踏まえ、新たなメンバーを推薦する予定であることが説明された。あわせて、IUCr2026 に関する最新の情報が共有された。

## 4 日本学術会議関連（中川結晶学分科会委員）

日本学術会議主催のシンポジウム「持続可能な未来を築く物質・構造・機能 ～資源リサイクル、カーボンニュートラル、食糧問題の解決へ向けて～」に関する開催報告があった。

## 審議事項

### 1. 会員異動について

杉本庶務幹事より、2025 年度第 1 回評議員会以降の新規入会者の紹介と入会申込書類の閲覧が行われ、全員の入会が満場一致で承認された。承認後、2025 年 3 月 17 日から 7 月 3 日までの会員の異動状況について報告があり、2025 年 7 月 3 日現在の会員数は 977 名

(個人会員 960 名、賛助会員 17 社) あることが示された。

## 2. 共催・協賛等依頼について

学会への共催・協賛等の依頼として、協賛依頼 11 件、共催依頼 2 件が報告され、すべての案件について満場一致で承認された。

## 3. 2025 年度学会賞について

杉山会長より、2024 年度学術賞 2 件について、学会賞選考委員会がオンラインで開催されたことが報告され、受賞理由および題目とともに以下の 2 名が推薦され、満場一致で承認された。

学術賞：小松 一生 会員「高圧下での中性子回折実験による氷多形の結晶構造の解明」

学術賞：近藤 次郎 会員「核酸立体構造に基づく構造生物学とナノ材料科学の融合的展開」

なお、各賞の推薦理由書については、評議員会終了後、選考委員会で文面の修正を行い、メール審議で評議員会の承認をとることとした。

## 4. 次回評議員会日程

2025 年度第 3 回評議員会は、11 月 15 日（土）にオンラインで開催することとなった。会議の詳細については、後日あらためて連絡することとなった。

以上

上記の決議を確認するため、議事録を作成し、議長及び議事録署名人が記名捺印する。

2025 年 7 月 14 日  
一般社団法人日本結晶学会  
評議員会

議長・会長 杉山 和正 印

庶務幹事・評議員 杉本 邦久 印